

## カーコーティングご説明書

- ① 事前にボディのキズ等をチェック致しますが、見落とす場合がございます。弊社に瑕疵が無い場合、保証は出来かねますのでお含みお気お願い申し上げます。
- ② ポリッシングによる回転作業の為、ボディの飛び石や傷部分が広がる場合がございます、この件の保証は出来ませんので事前にご了承お願い申し上げます。
- ③ ボディを脱脂除去する工程で、これまで油分等で隠れていた傷が出てくる場合がございます。ポリッシャーでは除去出来ない場合がございます。
- ④ 雨染み等のダメージが多い個体の場合、お約束した納期を延期させて頂く場合がございます。また深追いしてペイントを剥がしてしまうリスクがある研磨は致しません（ご要望により別途攻めるポリッシングを承りますが塗装が剥がれるリスクがございます）
- ⑤ ガラスコーティングに不具合（溶剤によるムラ）が弊社スタッフにて認められ、施工後3ヶ月以内の場合は弊社再作業保証が付いております。但しお車のお持込等のご協力をお願い申し上げます。ご返金等は一切承っておりません。
- ⑥ 弊社の作業中の事故によりボディに傷を付けてしまった場合、弊社指定の板金工場にて弁償修理させて頂きます。但しそれ以上の返金や慰謝料請求は受け付けておりませんのであらかじめご理解下さい。
- ⑦ お互いの意思疎通は話し合いで解決する事とします、万一紛争になってしまった場合、弊社管轄の横浜地方にて扱い致します。

## 施工後のお取り扱いについて

- ① 施工後は、最低でも1週間程は洗車をお控え下さい。
- ② 溶剤が定着するまでは1ヶ月程のお時間が掛かる場合がございます。
- ③ 施工後は市販のカーワックスは使用しないで下さい。
- ④ 洗車で落ちない汚れ等は、量販店でシュワラスター製のワックスをご購入頂き、軽く擦って除去して下さい。
- ⑤ 洗車機の使用はお控え下さい（GTCを除く）洗車キズの原因となります。
- ⑥ ご不明な点等はお気軽にお問い合わせ下さい。

## ご注意

- ☆ 転居の場合は。事前に弊社までご相談下さい。
- ☆ 本書は国内においてのみ有効です。
- ☆ 本書は再発行は致しませんので、大切に保管して下さい。
- ☆ 日常のメンテナンスに付いてはお気軽に弊社にご相談下さい。

## お手入れ方法

### 日常のお手入れ方法

近年、酸性雨や黄砂等の大気汚染物質が多く、雨または汚れが付着したまま放置しておくと太陽光線の汚染物質により塗装が侵されたり、汚れが落ちにくくなってしまいます。

次回のメンテナンス時期までワックスがけ等は不要ですが、汚れてしまった際はこまめな洗車をお願い致します。

☆ボディーコーティングを施工していても洗車が全く不要という訳ではありません。

### 正しい洗車方法

1. ボディに付着しているホコリや砂・泥等を引きずる事が傷の原因になりますので、最初に十分な流水を使って洗い流して下さい。
  2. 洗う順序は上から下（ルーフ・ボンネット・トランク・ドア・フェンダー・ステップ）の順に洗い、泥のひどい部分は最後に洗って下さい。
  3. 洗った部分から乾かないうちに水で流して下さい。
  4. 乾かないうちに拭き取って下さい。
- ☆ 出来る限り塗装面に優しい手洗い洗車を心がけて下さい。
  - ☆ 炎天下での水道水・井戸水での洗車はおやめ下さい（水道水に含まれるカルキ・井戸水の場合は鉄粉が付着します）

## 光沢を維持する為の注意事項

下記のようなお手入れを行うとボディーコーティングの効果が長持ちしないばかりか短期間でツヤや光沢の喪失を招きますので十分ご注意願います。

- ① ガソリンスタンド等のブラシ使用の機械式洗車機の使用（GTC 以外）
- ② 洗車ブラシを使用しての洗車
- ③ 濡れ雑巾等で、直接ボディーへ雑巾がけ又は空拭き。
- ④ 研磨剤を含んだワックス等の使用。

## その他の注意

- ① 樹液が付着するので木の下での駐車は避けて下さい。樹液が付着した場合はすぐに洗い落として下さい。
- ② 線路付近や工事現場等は鉄粉が多く飛散しているため、駐車時は屋内もしくは車体カバー等をご使用下さい。
- ③ 海辺や雪道の走行後は塩分により錆汚れの原因となりますので、早めに洗車を行って下さい。
- ④ 鳥・虫の糞等が付着したら、すぐに洗い落として下さい。シミ・酸化・ウォータースポットの原因となります。